

有害化学物質から子どもを守るネットワーク（子どもケミネット）  
ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議 共催

# どうする！全国のPFAS水汚染

有機フッ素化合物(PFAS)という言葉が急速に浸透してきています。個別の有害化学物質の名称がこれほど広く認知されることは珍しいことです。そこには2020年のJEPA、2022年の沖縄、2023年の多摩地域の住民血液検査の活動が大きく貢献しています。健康影響が出る可能性のあるPFASが体内から検出される人たちが存在することを明らかになりました。対策は待ったなしです。また全国各地に様々な汚染源があることをわかってきています。PFASは一部地域の汚染にとどまらず全国で対策が必要です。実際の血液検査を一手に引き受け孤軍奮闘中の京都大学の原田浩二准教授に、PFAS汚染をめぐる最新情報をお話しいたします。また多摩地域で最も高濃度の汚染であった国分寺市から、調査に取り組まれている本町クリニック院長の杉井吉彦先生に、国分寺市の状況と課題についてお話しいたします。また沖縄と、新たに水道水汚染が見つかった神奈川県座間の人たちにも報告してもらいます。PFAS汚染解決に向けて私たちに何ができるのか共に考えましょう。

## 7月30日(日)

12:30開場

13:00 開始 16:00終了

場所/連合会館

401号室(50名)

東京都千代田区神田駿河台3-2-11

最寄り駅 JR中央線・総武線「御茶ノ水駅」

東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」

東京メトロ丸ノ内線「淡路町駅」B3出口

参加費：無料

会場とオンラインの同時開催

参加申込/会場参加はメールで

[Kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp](mailto:Kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp)

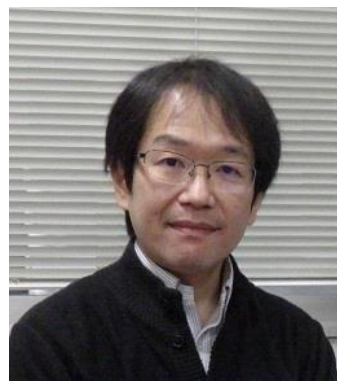
## 原田浩二氏

Dr.Kouji Harada

京都大学 大学院医学研究科

社会健康医学系専攻

環境衛生学分野准教授



## 杉井吉彦氏

Dr.Yoshihiko Sugii

国分寺本町クリニック院長

多摩地域のPFAS汚染を明らかにする会

共同代表

「PFAS汚染を考える国分寺市民の会」



ウェビナー参加は

QRコードまたは

下記URLより

ご登録を

<https://onl.la/adqiVP8>

午前11時～12時半には同会場でJEPAの

年次総会が開催されます。

その他、2022年に血液検査を行なった沖縄の「PFAS汚染から市民の生命を守る連絡会」と、新たに水道水汚染が見つかった神奈川県座間市の「ユニット座間」の人たちからの報告も予定しています。

共催：有害化学物質から子どもを守るネットワーク(子どもケミネット)  
ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議(JEPA)

事務局：〒136-0071東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル4F

■本件に関するお問い合わせは [kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp](mailto:kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp) または03-5875-5410

このセミナーは2023年度地球環境基金の助成を受けて開催されます。